

詩集

而立書房 6月下旬新刊のご案内(委託受注〆切6/10)

詩集 **休息のとり方**  
How to Take a Rest

福間 健二 著

59篇  
収録

四六判192頁 本体予価2000円+税  
ISBN978-4-88059-420-0 C0092

弱い風が吹いている。  
遠くで、なにか割れたような音。  
人の声も。  
二十年以上住んでいる町が  
いままで見せなかった表情で  
なにか指示している。

(「二度寝しないために」より)

戦前・戦中・戦後という過去の時間に挑みながら、  
今日とこの先に待つ変化に“耐えうる”詩集を。

学生時代より、若松プロに出入りする映画青年だった。映画と詩作の二つの領域で先見性と冒険性にみちた活動を続け、その後、四方田犬彦や辻仁成も参加した“詩と映画の雑誌”「ジライヤ」を創刊(1989~96年、20号で終刊)。3.11を含む期間に制作された詩集『青い家』では、萩原朔太郎賞と藤村記念歷程賞を受賞。新型コロナの猛威が深刻化したこの春、人に会わない日々のなか、新詩集の構想が生まれた。戦前・戦中・戦後という過去の時間に挑みながら、今日とこの先に待つ世界の変化に「耐えうる」という以上の言葉を残そうと願ってまとめたのが、今回の『休息のとり方』である。

斬新さ+ぬくもり、  
リアル+ファンタジー。  
詩と映画の二つの領域で  
果敢に冒険をつづける  
福間健二の長篇映画第6作。

『パラダイス・ロスト』

新型コロナの影響で  
上映中断するも、  
上映再開に向け準備中!

福間 健二 (ふくま・けんじ)

1949年、新潟県生まれ。首都大学東京名誉教授。詩人、翻訳家、映画監督として活躍。

詩集『青い家』(思潮社)で萩原朔太郎賞、藤村記念歷程賞を受賞。

著書に『佐藤泰志 そこに彼はいた』(河出書房新社)、訳書に『ブローティガン東京日記』  
(平凡社ライブラリー)ほか。

ご注文は 而立書房 まで  
FAX 03-3292-8782

<http://www.jiritsushobo.co.jp>

6月下旬発売予定

貴店番線印

冊

休息のとり方

福間 健二

而立書房

ISBN978-4-88059-420-0 C0092 予価¥2000 四六判上製